

第48回世界情報社会・電気通信日のつどいにおける受賞

2016年5月17日の「第48回世界情報社会・電気通信日のつどい」において、ネットワーク部の橋本 明氏が「総務大臣賞」、ネットワーク開発部の岡川 隆俊氏と無線アクセス開発部の新 博行氏が日本ITU協会賞「功績賞」を受賞しました。功績賞は、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現を含むITUの活動、または我が国のITU諸活動に貢献し、その他情報通信および放送の発展に寄与し、その功績が著しい者に贈られます。総務大臣賞は、日本ITU協会賞の全受賞者の中で功績が特に顕著と認められた者に贈られます。

また同日、先進技術研究所のカーン アシック氏、無線アクセス開発部のウリ A. ハプサリ氏が日本ITU協会賞「国際活動奨励賞 功績賞対象分野」を受賞しました。国際活動奨励賞は、功績賞および国際協力賞に該当する諸活動にすでに参加し、今後これらの領域において継続して寄与することが期待される者に贈られます。

橋本氏は、1980年以来35年にわたる、ITU-R (International Telecommunication Union-Radiocommunication sector) 会合における地上業務に関連する多くの重要勧告の採択への貢献、さらに2007年から2期8年間ITU-R SG5議長を務めたほか、無線通信総会議

長も務めるなど、日本のITU-R活動への多大な貢献が認められ、総務大臣賞を受賞しました。

岡川氏は、1999年から現在に至るまで3GPP (3rd Generation Partnership Project) やGSMA (Global System for Mobile communications Association) における3G, LTE, VoLTE (Voice over LTE) などの標準化の牽引や、TTC (The Telecommunication Technology Committee) における将来モバイルネットワーク技術検討の立上げなど、長年にわたる国内外の標準化と技術検討への貢献が認められ、功績賞を受賞しました。

新氏は、2006年よりITU-R SG5 WP5D会合を中心に日本代表団として移動通信分野の標準化に従事、特にWRC (World Radiocommunication Conference)-15では携帯電話用周波数追加特定の議題に関しWRC-15, WRC-15準備会合およびAPT (the Asia-Pacific Telecommunity) 準備会合における議長職としての貢献が認められ、功績賞を受賞しました。

カーン氏は、ネットワーク仮想化技術における技術開発および標準化への貢献、特に、ETSI ISG NFV (European Telecommunications Standards Institute Network Functions Virtualisation Industry Specification Group) における中核的標準規格の策定や、標準準拠のオープンソース開発 (OPNFV: Open Platform for NFV) への貢献が認められ、国際活動奨励賞を受賞しました。

ウリ氏は、LTEおよびLTE-Advancedの3GPP標準化活動における、主に、無線アクセスネットワークのアーキテクチャ、ノード間I/F、緊急災害警報 (ETWS: Earthquake and Tsunami Warning System), VoLTEの規制制御、(e)MTC (Machine Type Communication) の仕様策定およびラポータ職としての貢献が認められ、国際活動奨励賞を受賞しました。

